

こんにちは♪

日本共産党市議会議員



小野寺ゆきえです!

市民の声を届け“暮らし応援”

6月議会での一般質問が終了しました。今回は、「平和行政」と「暮らし応援」をテーマにしました。

「暮らし応援」では、まずプレミアム付商品券の問題点を指摘し、改善を求めました。問題点は、5千円で商品券を買うために、工面できず買えなかった世帯があったこと。1冊しか買えなかった世帯と、2冊・3冊買えた世帯があったこと。申し込んだのに引換券が送られてこなかった世帯が約50世帯あったことです。物価高でどの家庭も切実なのに、不公平です。

私は、あらためて札幌市のように現金給付にすべきだったことを指摘しました。市側も不公平さを認め、アンケートを行ったうえでしっかり検証し、次回に生かしたいと答えてくれました。

次に、ぬくもり灯油事業の要件緩和を求めました。高齢がいる所得が低い世帯を対象に1万円を支援する事業ですが、預金が50万円以上あったら受けられません。

市営住宅家賃減免制度では、「社会情勢にそぐわない」などの理由から預金要件を廃止しました。私は、市営住宅のように預金要件を廃止し、ぬくもり灯油を受けられる世帯を増やすよう求めましたが、預金要件は「妥当」だと言いました。同じ市役所で「そぐわない」と「妥当」が混在するのは“ちぐはぐ”です。この問題は引き続き改善を求めていきたいと思います。

市内路線バスのフリーパスも取り上げました。1ヵ月2千円のフリーパスを買うと、バスが乗り放題だったのですが、昨年3月で廃止になりました。いまでも復活を求める声は少なくありません。

そこで、私の提案は、今までの高齢者福祉事業として行うのではなく、“まちづくり”の視点のフリーパスです。フリーパスを使って高齢者が気軽に出かけしていくことで、駅前などの賑わい創出につなげ、地域経済が還流する仕組みをつくることです。市長は「検証したい」と言ったので、その結果を待ちたいと思いますが、同時にバスの利便性の向上も課題です。

その他にも、子どもの生活支援も提案しました。先の見えない物価高騰で、市民生活は大変です。少しでも“暮らし応援”になるよう、これからもみなさんの声を届けていきたいと思っています。